

新宮山彦ぐるーぷ第2130回

行仙宿巡回整備と奥駆トレラン支援

◇実施日… 2021年5月15日(土) 16日(日) 雨

◇参加者… 梶野照雄

1名

吉野から本宮までを、前鬼に一泊して二日間駆抜ける「Theトレイルラン 大峯奥駆」が今年も開催された。去年はコロナの影響で日程を遅らせての開催だったので、行仙宿でのサポートはしなかった。

天気予報で確実に雨になることが判っていたが、新しい電子レンジの荷揚げもあり、15日に行仙宿に登った。



シートに溜まった雨水

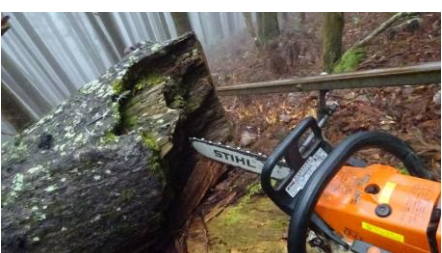


行仙宿に到着



電子レンジを管理棟に

モノレールに荷物を積んで登り始める。終点の手前、以前搬器に接触して切除した直径50cmほどの倒木が再び下がってきて、モノレールの変速レバー迄あと1cmに近づいていた。荷台までの間隔は10cmほどになっていた。手前で一時停止して、接触しないか確認して動き出す。



チェーンソーを背負子に レバー迄1cm

切除

電子レンジは約10kgなので、最初に電子レンジだけを荷揚げした。電子レンジを管理棟に降ろして、倉庫から大きなチェーンソーを出して背負子に括って降る。

倒木現場の少し上で停車し、チェーンソーを持って下る。付近は柔らかく、雨で濡れているのでよく滑る。大きなチェーンソーは重いので、足場を確認して慎重に切除。約20cmほどを切り落として搬器に接触しない間隔を確保した。地面が柔らかいので、雨で倒木が重くなると再度ずり落ちて、搬器に接触する可能性が高いので、早急に切除する必要がある。

チェーンソーと食料などを背負子につけて登りですが、電子レンジより重い。ゆっくり歩いて行仙宿に到着した。

小屋で休憩していると、沖崎さんから電話があり、プロパンガスの残量確認や炊飯器の状態確認をして欲しいとのことだった。管理棟にあったガスボンベにコンロを取り付けて点火してみた。勢い良く燃えている。カセットコンロよりも火力は強そうだ。ボンベはかなり重く、ガスの残量も十分あるように思えた。



再び行仙宿

電子レンジを使う

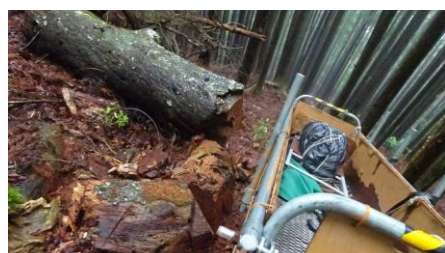
ガスボンベをテスト

電子レンジを箱から出し、取扱説明書を読む。この電子レンジはオーブンレンジなので、使用前に20分間のカラ過熱が必要とのことで、発電機を動かして20分の過熱を行う。オーブン機能が付いているので、グラタンやトーストも焼くことが出来る。

雨は降り続けているが、管理棟と小屋の移動に傘は必要なく、時折雨音が強くなる程度だった。午後9時半に管理棟で就寝。

翌16日、午前6時過ぎに起き出してサトウのごはんをチンする。

やはり温かいご飯は最高だ。7時過ぎに小屋に移りストーブに火を入れる。



トレラン2名到着

下山

倒木の状態

トレランは前鬼を午前4時に出るので、早ければ10時頃に行仙宿に着く。コーヒーを入れて到着を待つ。時間は十分あるので、掃除機を出して室内を掃除する。11時前になり、お腹が空いてきたので、管理棟でサトウのごはんをチンして小屋に戻った。

小屋にはトレランの2名が到着していた。男性は何度もお会いした方で、もう一名は女性だった。女性の参加は珍しく、過去に一名おられたがこの女性が二人目だそうだ。

雨でぬかるんだ道に足を取られ、殆ど走れない、午後3時までに玉置山に着きたいが、無理かもしれない。と話された。2名は軽い食事の後、南下を始めた。

後続について聞いたところ、一名は前鬼でリタイヤ、二名は30分ほど遅れているとのこと、今回の参加者は5名だった。

管理棟や倉庫のカギをかけて、後続を待つ。12時を過ぎても到着の気配なし、急いでいるので通り過ぎたのかと思い、午後1時に下山した。

後日、後続の2名は行仙岳からR425に下山、先頭の2名も山在峠でリタイヤしたことが判った。

(記：梶野)

行動タイム

15日：登山口13：45→14：25 行仙宿→14：57 倒木切除→16：08 行仙宿 16日：06：20 起床→11：08 トレラン到着→13：00 下山→13：25 登山口